

銀漢亭日録



伊藤伊那男

7月12日(日)▼「マドリッド国際映画祭」に出張中の宮澤より連絡が入り、「うみやまあひだ」が外国語ドキュメンタリー部門の最優秀賞を受賞したと。十時半のJAL便にて伊丹経由で隠岐諸島へ向かう。石寒太、宇多喜代子さんと三人の講師として。ともかく二泊三日盛りだくさんの観光。島民の方々のもてなしただ事でなし。留守中の十三日、展枝さんが銀漢亭を開いてくれる。何と！満員であつたと。「隠岐四島めぐり吟行ツアー」については九月号に別稿。

14日(火)▼夜、二十時半頃、帰宅すると、りえさん、サッカーの城さん夫人など酒盛り中にて参加。そこへ宮澤帰国し乾杯！

15日(水)▼八月号校正。店、一般のお客も多く、ますますの混雑。岐阜の堀江美州さん寄つて下さる。初孫できた！

16日(木)▼「銀漢句会」あと十六人。「週刊金曜日」の伊達さんなど。閉店後、清人、本庄、風子さんなどと角の餃子屋。

17日(金)▼台風は、今ごろ隠岐諸島直撃の模様。運の良い旅であつた！「葛句会」あと閑散。

18日(土)▼午前中歯科。十七時、荻窪の「杉並会館マツヤサロン」にて奈良英子さんの句集『遠郭公』出版記念会。奈良さん八十八歳。祝辞。二次会は荻窪駅前「はなの舞」。百合ヶ丘まで乗り越す。

20日(月)▼昼、新宿「TOKYO DAHANTEN」、一族十一人。飲茶で暑氣払い。宮澤は伏見稲荷の撮影で戻られず。昔、家族で何回か来た店。その頃は香港の店のように飲茶のワゴンが通り、チョイスしたものが、今は個室形態に様変わり。帰宅して二次会。途中から

て「こもろ・日盛俳句祭」担当教室は、行方克巳、筑紫磐井、沖寒蟬、小川軽舟さんと。十六時から、字余り字足らずについてのシンポジウムにバネラーとして登壇。軽いパーティーのあと、山田真砂年さん他、「銀漢」の仲間など十数名で「花むら」にて宴会。日本酒が沢山空いた上については焼酎の一升瓶を入れて飲み干す。さらに、小諸城散策のあとホテルの部屋で飲み直し。ああ……。

2日(日)▼真楽寺を吟行。戻り、「刻」にて蕎麦。俳句教室は、山田真砂年、島田牙城、筑紫磐井氏と。十六時、「銀漢俳句会・北軽井沢句会」の迎えの車で婦恋村に向かい、十七時、柴山山荘。横断幕で迎えて下さる。ガーデンパーティー、句会。いろいろな土産をいただいて二十時半位の新幹線で帰宅。

3日(月)▼七月の店の月次収支表。総合誌の依頼原稿など。雑務。店、「かさゝぎ勉強会」あと十数名。水内慶太、佐古田さん、対島康子さん、宗一郎さん。でも閑散。

4日(火)▼猛暑日五日目と。「神田古本まつり俳句大会」の選句、選評、短冊用意。札状、その他。店、記録的閑散。谷岡、大野田、松代さんが日帰りで「出羽三山吟行」の下見に行き、三光院とも打ち合わせして帰路、報告に寄ってくれる。

5日(水)▼「俳句界」十月号へ酒のエッセイ。十一月号へ巻頭三句。「俳句あるふあ」へ「いのちの俳句」原稿。猛暑日六日目か。店、「きさらぎ句会」あと十一人。「宙句会」あと十二人。「宙句会」レバアップしている！まほさん持参の生ウニ、何ともうまいこと。武田編集長の息女・摩耶子さん一家来店。ご主人は会員の土田裕さん。娘さんの康子ちゃん聡明さに驚嘆。

6日(木)▼慶大俳句会機関誌「丘の風」へ、「若葉」編集長・伊東

寝てしまう。

23日(木)▼店、「小野川温泉蜜の会」に行った池田のりを、清人さんらの会。気仙沼の鰺、馬刀貝など。八人。皆川文弘さん、山崎祐子さん、いわきのことなど。

25日(土)▼「纏句会」、十四人勢揃い。あと蟹とくらげ和え、真魚鰹の焼物、穴子の卵とじなど。握りは兼題の新子など。酒は「日高見」。あと渋谷で少々。次のエッセイなど考える。

26日(日)▼猛暑。家族に誘われ「109シネマズ二子玉川」へ。「アベンジャーズ2」を見る。3Dは初めて。忙しい映画。戻って早々と酒盛り。スペインのからすみ。キャビア！鳥鍋、刺身、隠岐の村上助九郎氏から戴いた栄螺の煮物、文弘さんからの笹かまぼこなど。ヴーヴクリコ。結局、朝エッセイ一本書いた外、何も進まず。

27日(月)▼店、「演劇人句会」八人。「青垣」の石井さん明石から。前に二回来たが、休業していて三回目の正直と。

28日(火)▼片山一行さん愛媛から出張。「大倉句会」の有志十人が囲み句会。

29日(水)▼「雛句会」あと十三人。押鐘氏、安井氏、清人さん。あと角の餃子屋へ六人ほど。グアムの明子さん長男と帰省中。我が家に一泊。

30日(木)▼鈴木忍ママの日。小島健さんご子息、娘婿殿と三人で。宗一郎、松山、清人、麦、敦子さん、角川書店の半田、翼さん……、池内さん他「春耕」の面々など。

31日(金)▼九月号原稿終了。店、二十時位迄、洋酔さん一人。そのあとばらばらと。文弘さん、文子、うさぎ、礼奈、近恵さん。

8月1日(土)▼昼、小諸着。「刻」にて蕎麦。「ペルウィン小諸」に

肇句集『多摩川』の評二千字。店、「十六夜句会」あと七人。池田のりを、安藤先輩(伊那北高校)、麒麟夫妻、うさぎ、真砂年さんなど。

7日(金)▼桃子と孫達は一足早く沖繩へ。猛暑日八日目か。岩野齒科メンテナンス。店、稲垣さん他、俳句の方々四人。俳句の店を見に来た。その稲垣さんと話すと、昨日来店した安藤さん(伊那北先輩)と同じ銀行の同僚であつたと！「大倉句会」あと十五人。

8日(土)▼十時より、運営委員会。昼、「いもや」の天ぶら。「本部句会」五十三人。あと、「上海庭」にて暑氣払いの会。三十数名。夏休みに入るので店の点検。ゴミ出しなどをして帰宅。

9日(日)▼九時過ぎ、兄の家。姉、兄と私と形見分け。あと従姉妹の貴美子ちゃん来て、数十年ぶりの再会。「メモリアルガーデン多摩」に母の納骨。そのあと、「馳走のむら」にて直会。細やかな懷石料理。「真澄」などに酔う。

10日(月)▼宮澤と羽田空港JALラウンジで少々飲み、十二時半のフライト。十五時過ぎ、那覇着。桃子と孫達の迎えを受ける。北谷の「アルトゥーレ」。コンドミニアムでかれこれ借りて五年目。今回は十六階の部屋。すぐ、アグーのしゃぶしゃぶの「和琉」にて夕食。大量のネギがいい。買い物をして帰宅。夕日が良い。二十一時には寝てしまう。

11日(火)▼五時起床。六時半、プールサイドでラジオ体操の会。二年ぶりの参加で顔見知りもいる。快晴。今日は伊計島ビーチで一日遊ぶ。あと浜父嘉島のシルミチュー御嶽に寄る。夜、目当ての店、二軒とも満員と休みにて部屋で自炊。